

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成21年7月16日)

開催日及び場所		平成21年6月16日(火曜日) 農政第4会議室			
委員		中野芳輔(大学名誉教授) 米澤和彦(大学学長) 川野由紀子(会社監査役) 内田光也(弁護士)			
審議対象期間		平成21年1月1日～平成21年3月31日			
審議対象案件		639件 うち、1者応札案件34件 契約の相手方が公益社団法人等の案件13件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件0件 (抽出率1%) (抽出率0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		2件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
			工事希望型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		随意契約		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		随意契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
	その他の随意契約		0件		
	物品・役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争		0件	
		随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		随意契約(その他)		0件	
	(特記事項)				

	意見・質問	回答等
委員からの 意見・質 問、それ に対する回答 等	I 平成20年度第4・四半期入札方式別発注 状況について 意見・質問なし	(I に対する回答)
	II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契 約について	(II に対する回答)
	1. 工事 (1) 平成20年度筑後川下流白石平野 (二 期) 農業水利事業山脚導水路 (東分工区) 工事	
	●入札執行調書⑤換算欄 10 / 30 の説明	施工体制評価点が10点となった場合は、評価 点についても10/30の換算を行うことになっ ています。
	●入札執行調書 3、5 番業者の③技術者評 価点差 (1 点差) の説明	経験年数：10年以上 1 点、10年未満 0 点、全 国過去15年の同種工事の経験：有 1 点、無 0 点、農業農村整備事業における継続教育の取 組み：有 1 点、無 0 点等の合計差です。
	(2) 平成20年度筑後川下流白石平野 (二 期) 農業水利事業山脚導水路 (上分西工 区) 工事	
	●低入札があった入札の場合、すぐに落札 決定するのか。	施工体制にかかるヒアリングを 7 日以内に行 い、施工体制評価点を付与後、落札決定しま す。
	●低入札が多い要因として、どのようなこ とが考えられるのか。	工事数量、単価も公表されていますので、予 定価格及び調査基準価格をほぼ推定できるこ とから、調査基準価格を下回らない価格を 狙って入札した結果と考えられます。
●低入札での落札実績はあるのか。	今年度、実績はありません。	
(3) 平成20年度徳之島用水 (一期) 農業 水利事業北部調整池付帯工事 (第 1 回変 更)		
●予定価格と見積価格が同額であるが、変 更増減の見積が正確にできるものなのか。	現地の状況を確認しながら、施工業者と変更 の協議を行っていますので、かなり、近い額 の見積が可能だと思います。また、予定価格 が10万円単位であったため、たまたま同額と なったと考えています。	
(4) 平成20年度筑後川下流左岸農地防災 事業中木室 1 号線 (本木室工区その 1) 工 事		

	意見・質問	回答等
委員からの 意見・質 問、それ に対する回答 等	● 1社だけ、入札価格が低い。なぜ、このような状況になるのか。	一般管理費を下げたり、資材の低価格購入等の要因が考えられます。 また、当該地区は昨年7月からの新しい事業であり、入札参加者が今回発注規模の工事受注経験が少ないことからバラツキが出たのではないかと考えられます。
	● 環境に配慮した評価をしているのか。	工法自体を環境に配慮したものとしており、総合評価の項目には入れていません。
	(5) 平成20年度大野川上流農業水利事業計測機器設置工事	
	● 辞退が5社と多いが、なぜか。	工期が短いなかで、超音波流量計と電波式水位計の準備ができないことが主な理由と考えられます。
	● 入札価格にバラツキが出ているのはなぜか。	製作費が9割程度を占めているため、製品の価格に左右されたものと考えられます。
	● 機械類の入札は、低入札が多いが、施工体制総合評価方式の導入はしないのか。	施工体制は、現場の施工体制であり、機械製作は、工場の中で出来るものであり、今回の工事に導入は難しいです。
	(6) 曾於北部(一期)農業水利事業谷川内ダム第二期建設工事(第1回変更)	
	● 予定価格に近い見積金額だが、正確に見積を出したということか。	長期間の工事であり、施工業者が現地の状況を把握しているため、予定価格に近い見積金額が出たと考えられます。
	2. 業務 (1) 平成20年度筑後川下流農業水利事業河川協議その他検討業務(第1回変更)	
	● 具体的な変更内容の説明。	かんがい地区に流す用水の水収支計算と並行して水路に流す水をどれくらい流したら水質が改善するかの水質改善検討のための水収支計算の追加です。業者と協議を行った上で水収支計算の追加を決定するため、予定価格と見積金額が接近した金額になったと考えられます。
(2) 平成20年度筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業山脚導水路地質調査その他(その3)業務		

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>●入札価格にバラツキがあるが、見積が難しいのか。</p>	<p>パーカッション・ボーリングマシンという、簡易な機械で行なえる業務ですが、一般的な、ロータリーボーリングしか持っていない業者が多いと思われ、機械を持っている業者、又は、安く借りれる業者が低い入札価格になったと考えられます。</p>
	<p>●指名は九州だけか。</p>	<p>九州管内の業者で、地質調査をする業者を指名しています。</p>
	<p>3. 物品・役務等 (1) 平成20年度多機能複写機（複合機）の購入及び保守（第2回）</p>	
	<p>●なんで、こんなに安い入札価格になるのか。</p>	<p>複写機については、官庁への納入実績を上げるといふこと及び保守契約のことなど、各業者がそれぞれトータルで判断した入札価格なのではないかと考えられます。</p>
	<p>(2) 平成20年度徳之島用水（二期）農業水利事業地理情報システム検討業務委託事業。</p> <p>●企画提案者は何者か。</p> <p>●見積執行調書はないのか。</p> <p>●土地改良事業団体連合会の方が、地元でかなり詳しく、熟知しているということで契約したのか。他の業者が提案してもなかなか契約できないのか。</p>	<p>3者です。</p> <p>企画競争ですので、ありません。</p> <p>県からの受注実績があり、当該システムを熟知しており、地元が、使用しやすいシステムの提案がなされたことにより、契約相手として選定しました。</p> <p>施設の管理ということになりますので、どうしても、土地改良区とか地元に着した者が、ノウハウを承知しているようです。</p>
委員による意見の具申又は勧告の内容	なし。	

[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。
-------------------	-----

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。